



2026-27年度

INTERNATIONAL ROTARY

第2770地区

大宮東ロータリークラブ

週報

R I メッセージ 持続可能な インパクトを 生み出そう	例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会 長	田中秋弘
	時 間	12:30～13:30		5-50-9・B-2	幹 事	前 裕美
	例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	TEL	048-685-0145	クラブ管理 運営部門委員長	大屋文夫
	創 立	1978年10月28日	FAX	048-687-3495		
会員増強・新クラブ 結成推進月間	Eメール：omiya.e.rc@nifty.com		Eメール：omiya.e.rc@nifty.com		公共イメージ 向上委員長	中川賢司
			https://www.omiyaeast-rc.jp/			

点鐘 田中 秋弘会長 ソング 我等の生業

ゲスト&ビジター

◆青砥 祥子様（認定NPO法人さいたまユースサポートネット 専務理事）

会長挨拶 田中 秋弘 会長



残暑お見舞い申し上げます。皆さん、夏休みお盆休み、ゆっくりと休めましたか？先ずは、先日発生しました令和8年8月千葉県豪雨災害では道路等の公共インフラ損壊、床上浸水・車両水没など甚大な被害が発生しました。そして11名の尊い命が失われ、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。皆様の、お知り合いは大丈夫でしたか？私の会社では、風水害・倒木などの対応で行政より万が一に備え待機要請が

ありました。幸いこの地域、当社担当エリアでは大した被害ありませんでしたが、今後いつこの地域でも、このような災害に見舞われるかもしれません。どうぞ日頃の対策を職場で、ご家族でお話してみても如何でしょうか？さて、お盆の時期、皆様の中には「新盆（初盆）」を迎えられ、ご先祖様や故人を偲ぶ特別な時間を過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私も昨年、父親を亡くして初めてのお盆を迎えました。ここ5年間ほどは親父の代わりに盆棚を作成して仏様をお迎えしておりましたが、今年は親父の代わりでなく自分自身で盆棚を作成するとすると身の引き締まる思いでした。「盆棚（ぼんだな）」は、お盆の期間にご先祖様や故人の霊をお迎えするために設ける祭壇です。普段の仏壇とは違い、我が家では畳1畳ほどのテーブルを盆棚として活用しております。昨年他界した父の位牌、先祖代々のお位牌などを並べ、果物やお菓子、きゅうりの馬・ナスの牛、ホオズキや笹竹で祭壇を飾りました。私の妹たち家族と一緒にお寺へ仏様をお迎えに、そして食事を一緒にし、故人を供養し、これまでの感謝を捧げるとともに、命の繋がりと周りの人々との絆に改めて思いを馳せる大切な機会となりました。私たちロータリークラブの活動もまた、先人たちが築き上げてきた歴史と奉仕の精神を受け継ぎ、次世代へと繋いでいく営みです。故人を偲ぶ気持ちと重なるように、日頃から支えてくださるお互いへの感謝の心を忘れず、地域や社会に寄与していくことの大切さを、このお盆の季節に改めて実感しております。本日の卓話は、認定NPO法人 さいたまユースサポートネットの専務理事、青砥祥子様をお願いしております。さいたまユースサポートネットとは困難を抱える子ども・若者を支援している認定NPO法人です。2011年に設立され、6年前から見沼区役所北側の堀崎中央公園のお隣を拠点に活動されております。詳しくは、この後の卓話にてよろしく願いいたします。まだまだ厳しい暑さが続いております。体調管理にはくれぐれもご留意いただき、無理のないペースで例会に出席くだされば幸いです。ただ、次週の屋形船にて行う残暑払い例会ですが、もう少し参加者が増えると有難いと考えます。残暑払いと共に地区大会の準備もせわしなくなる時期とは思いますが、お互いに労い合いながら、より親睦を深められればと思います。今からでも参加調整可能な方は会長幹事または事務局まで申し出てください。よろしく願います。では、本日も実りある例会となりますようお願い申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



1. 前回の例会においていただいた、藤田亘弘（のぶひろ）様について、後日入会のご案内を皆様にFAX等でご案内いたします。異議申し立てがない場合、新入会員としてお迎えしたいと思います。

2. ロータリー会員名簿を今年も作成します。変更がある方は、今月中に事務局へ連絡して下さい。

3. 第4グループの会長・幹事表敬訪問が無事全てのクラブ完了致しました。

4. 8月7日インターアクト年次大会、8月9日大宮東ローターアクト例会に金子青少年委員長が参加してくれました。ありがとうございました。

5. 地区からの要請があり、岡田直前会長に地区副幹事になっていただく事をご了承いただきました。ありがとうございました。

6. 熊本地震義援金を2770地区より300万円お振込みしました。

7. 来週8月26日の例会は、残暑払いとして屋形船での夜間例会です。多くの皆様のご参加宜しくお願い致します。

表彰



米山功労者
糸川紀子会員 大屋文夫会員 田中秋弘会員
中川賢司会員 千代邦夫会員

卓話



認定NPO法人
さいたまユース
サポートネット
専務理事
青砥 祥子様

皆様こんにちは。 私どもが取り組む活動や、子供たちの状況など、少しお話をさせていただけたら幸いです。私どもは、堀崎中央公園隣に拠点を構えています。設立が2011年です。私の父が高校の教員、大学の教授をしております、学校からこぼれていってしまう子供たち、中退していってしまう子供たちを見ていて、まずどうしてそんな子供たちが中退してしまうのかと、全国のいくつかの高校を歩いて研究調査をしたところから始まっています。研究やインタビューやアンケート、先生方にヒアリングしていく中で、教育困難校の子たちが中退率が非常に高く、子供たちの困窮、貧困に問題があるのではないかとということで、埼玉大学の学生や社会人のボランティアの方々と一緒に、地域で孤立してしまう子供たち若者たちを支えるような、彼らのコミュニティができるような居場所作りをしたいということで「たまり場」という居場所を作り始めました。今年16年目の活動になります。これまで、障害のある子、虐待、家庭が崩壊してしまっている子、例えば小さい頃に両親を亡くして、お兄ちゃんと二人兄弟になったが、お兄ちゃんからの虐待で、高校生ごろ家を飛び出してホームレス状態になってしまった若者や、ヤングケアラーの子、外国にルーツがある子、少年院や刑務所から出てきて地域に馴染めない子、本当に様々な背景の子たちが、参加してきているのがたまり場という場所になります。どの子も、学校にも家庭にも居場所がなく、社会から地域から孤立してしまっている子供たち、若者たちでした。あくまでもボランティア活動としてスタートしましたが、2012年からは、子供の貧困対策である法律、生活困窮者自立支援法という法律の枠の中で活動することになりますが、学習支援教室をさいたま市から受託をして、今でも運営を続けております。やはりいつかは、地域社会や自立に目を向けなければいけないので、さいたま市で若者自立支援ルームという居場所、生活支援の場を作ったり、就労を目指す活動も行っております。したがって私どもは、先ずは居場所づくりから入って、学習の支援、自立就労まで、子ども、若者を対象に活動を行っています。子供の貧困の解消は、子供だけを支援すればなんとかかなという家庭ばかりではありません。お母さん自身も、何の支援もなく育ってきているのが容易に推測できるような状況、家庭なんですけれども。決して子供たちの責任でなくて、お母さんだけの責任でもなくて、その上の世代から日本で生活してきた人も少なくないだろうなというのを活動して感じるところです。そういった子供たちも、地域で希望を持って生きていけるような社会にするには、どうしたらいいのだろうかということ、本当にいろんな方のご協力をいただきながら、一生懸命やっている

ところです。子供たちにとっては、地域に支えてくれる大人がいるかどうか、そういう人に出会えたかどうかというのは非常に大きいと思っています。本人が抱えている課題としては、困窮の中で生きてきていて、非常に自分に自信がない、自己肯定感が非常に低かったりとか、孤立感がすごくあったり、助けてもらうとか誰かに頼れる経験がないので、誰かに頼って良いということに気づいてない、社会の信頼感がない、本人が精神疾患があったりとか、障害があったりということもあります。本人だけの課題ではなくて、家庭や学校や学校生活にもいろんな課題を持っているというのが現状かと思います。子供たち、若者たちのこうした生きにくさの背景には、いくつも社会問題があると私たちは思っています。私たちが付き合っているような子たちは、単なる個別ケースではなくて、社会全体の構造の問題ではないかと思っています。各差が拡大してしまっていて非常にしんどい思いして生きている子たちが、これだけ日本の社会、地域にいると考えた時に、やはり地域には、教育、福祉や環境問題、経済、市民活動、いろんな方々が繋がるネットワークが必要であると感じて活動をしています。こうした居場所は、私たちスタッフだけで作れるものでもなくて、NPOの一番つらいところは資金がないことと、人材が足りないところです。地域の大人が子供たちと出会って、一緒に活動していただく。子供たちが安心して過ごして、様々な体験に出会える居場所を、なんとかして継続していかなければならないと考えています。どんな親の元に生まれて来た子供たち、若者たちでも、社会の中で活躍できるようにしてあげなきゃいけないと私たちは思っています。地域の人たちで、地域の子供たちが支えて、そこで育った子供たちがまた地域の誰かを支える役割、支える人が循環していける地域を作っていきたいと思って活動しております。ここにいる皆様にも、ぜひそんな地域づくりにご一緒していただけないでしょうか。その子たちが成長して、地域で働いて、活躍できるようになって循環をたくさん生み出すことが、社会的インパクトになっていくんじゃないかって。まさに持続可能な地域を作っていく、持続可能な社会を作っていくという取り組みにつながるのではないかと思っています。私たちみたいな活動は、どうしても、ご寄付をお願いしたいことをお伝えしなければいけないのですが、寄付だけではなくて、就労支援の活動もやっています。活動をご一緒していただけると非常にありがたいです。

出席報告 渡部 正司委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
8/19	38	17	6	15	0	53.13
前回	38	21	3	14	0	60.00

スマイルBOX報告 渡部 正司委員長

＊渡慶次賀敬会員
＊岡田悦行直前会長、菊地貴志会員、瀬田雄一会員、田中秋弘会長、立原靖広会員、前裕美幹事、山田博司副幹事、山田雅明SAA、横田勝美会員、横山勇一会員
＊井上佳則会員、大石秀成会員、大屋文夫会長エレクト、小峰敬右会員、千代邦夫会員、渡部正司会員

ご協力いただきありがとうございました。
17件29,000円 合計532,000円